



地域の未来をつくる「主役」はわたしたち



くまにち すばいす 編集長 舞永 淳子
「くまもと生活応援紙」として、熊本市内とその周辺地域に30万3千部を配布するフリーペーパー「くまにちすばいす」の編集長。「まちづくり探検隊」の編集も担当。

まちづくり探検隊 メンバー 末藤 藍さん
紙面では、「交通指導の体験」「河内・芳野地区老人クラブ連合会」「下内田公民館」の取材に参加。父が校区の自治会役員を務めていたことから地域活動に興味を持つ。

まちづくり探検隊 メンバー 石井 友美さん
紙面では、「こども会の活動」「横井小桶頭影会」の取材に参加。探検隊での活動を機に、「西区フェスタ」の実行委員として活動。

まちづくり探検隊 メンバー 高見 陸代さん
紙面では、「校区防犯パトロールの活動体験」「隈庄校区自治協議会」「ごみステーション」「公園愛護会」などの取材に参加。社会奉仕活動などにも取り組んでいる。

一般社団法人 スタディライフ熊本 理事 水野 直樹さん
「まちづくり探検隊」の活動の一つ、「まちづくりセミナー」(年4回開催)の講師兼ファシリテーターを担当。FM791のパーソナリティーとしても活動。

「くまにち すばいす」紙面で、市内のさまざまな地域の各種団体の取り組みや活動について紹介した「まちづくり探検隊」。その紙面づくりに参加し、文字通り「探検隊」として地域の活動や、それに携わる人々の思いに触れた皆さんが集まり、「取材を通して感じた、まちづくりの面白さ」「今後の自身と地域との関わり方」などについて語り合いました。約1年間の活動の中で、探検隊のメンバーの地域に対する意識がどのように変化したのか？ 興味深い話が、たくさん飛び出しましたよ。

舞永(以下、舞) 「まちづくり探検隊」参加のきっかけは？

高見(以下、高) 「まちづくり」に関心があり、アンテナを張っていたところに「まちづくり探検隊」のメンバー募集を知りました。

末藤(以下、末) 自身が熊本のことをもっと知り、それを多くの人に伝えたいとの思いから探検隊に申し込みました。

石井(以下、石) 「まちづくりって何？」という素朴な疑問からメンバーに応募しました。小さい子どもを持つ親として今後、地域の人たちとつながることで、子どもの成長を地域で見守ってもらえる環境づくりができればと考えています。

水野(以下、水) 皆さんの中で、「まちづくり」の「まち」とは、どれくらいの規模をイメージしますか？

末 私は熊本県です。

石 私は町内や校区ですね。

高 みんなが集まる場所やエリア。例えば、熊本市中心街や駅周辺、熊本城周辺というイメージです。

舞 「まちづくり」とひと口に言っても、捉え方はさまざまですね。「まちづくり探検隊」に参加する前は、地域活動などについての知識はありませんでしたか？

末 父が校区の自治会役員をしていたので、幼い頃から会議などに付いて行ったりしていました。**石** 子ども会や婦人会などの存在は知っていましたが、「地域との関わりは」面倒くさいものというイメージが強くて、自分が住む地域の活動にも参加する踏み切りがつかせませんでした。

高 活動に参加している人は、60代後半から80代の高齢者が多いという印象でした。

舞 高見さんがおっしゃったように、現在の地域活動は、活動を支えている方々の高齢化や担い手不足が課題になっています。「まちづくり探検隊」の目的の一つも、「くまにちすばいす」の読者層である30〜40代の子育て世代に、まちづくりを身近に感じてもらうことでした。それぞれに印象に残った取材がありましたか？

高 自身が関わっている社会

まずは「知る」、そして「参加する」 やってみて初めて見えてくる 地域活動のやりがいや楽しさ



奉仕活動の中で、リサイクルの担当をしているので、黒髪校区4町内のごみステーションの取材が興味深かったです。集積所の清掃だけでなく、資源物の回収で収益を上げ、地域活動に生かしているという取り組みに感じました。

末 私は、交通指導の取材が思い出深いですね。「地域で子どもを支える」と口で言うのは簡単ですが、実際に交通指導を体験

30〜40代も地域活動に関心はあるので

地域とマッチングさせる「つなぎ役」が必要



させてもらって、「これを毎日ボランティアでやるのは大変だな」と感じました。でも、そうした大人の姿を見て育った子どもたちは、地域への感謝を持って成長すると思います。それが、ひいては地域活動を次世代に引き継ぐことにもなるのではないのでしょうか。

水 「循環」って、すごく大事ですね。その子たちが大人になって地域活動に関わった時、「自分の親

化しましたか？」

末 変わりました。以前は「地域活動など、私の年齢(20代)ではまだ早いのかな？」と思っていた

し、「地味」「きつい」というイメージを持っていました。ただ、実際に取材に参加してみると、「こんなことも地域活動でできるのか」という幅の広さを感じました。

石 そもそも、「まちづくり」の中にどんな活動があるのかも知らないまま「まちづくり探検隊」

地域活動に取り組む大人や親の背中を見て

子どもたちが感謝し、活動を引き継いでくれる



に参加させてもらい、地域で暮らす各世代によって「地域活動」にさまざまな関わり方ができるんだと学びました。それが少しずつ広がることで、地域の人と人とのつながりにもなっていくんですね。

高 熊本地震直後は、誰もが「地域って大切」と思ったはずなのに、3年近くが経過して、自分自身も周りも、その思いが薄れているように感じます。でも、「まちづくり探検隊」に参加して、その意識が再び高まったような気がします。また、地域活動を長続きさせるためには、奉仕の気持ちだけでなく、「楽しむ」ことも大事だなと思えました。

水 「まちづくり探検隊」のように、実際に地域と関わる企画に参

加して地域の中が見えることで、皆さんの見方が変わり、地域活動やそれを行っている団体への感謝の気持ちが生まれたんでしょうね。だからこそ、「楽しむ」という言葉も出てくるのだと思います。

舞 地域活動はどうしても「キツイ」「大変」というイメージがありますが、実際にやってみると「やりがい」や「楽しさ」が見つかりますよね。ただ、30〜40代には、地域との関わりを持つきっかけがあるようでない。だから皆さんも、楽しさに気付くことができたいんじゃないでしょうか。

水 自治会をはじめ地域の方々には、「なかなか若い世代が地域活動に関心を持ってくれない」と話します。でも、30〜40代も決して関心がないわけではなく、「窓

口「が分からない」だけなのかも
しれません。そこをマッチングさ
せる接点づくりが必要ですね。現
状では、そのつなぎ役が小・中
学校のPTA会長だったりしま
すが、なかなかそこだけに頼っ
ても難しいと思います。

末 双方に、「知るきっかけ」「誘
うきっかけ」があるといです
よね。若い世代でも、「地域活動
を（やってみたい）」という人も
います。

地域活動を長く続けるためには
参加している人たちが「楽しむ」ことも大事



舞 地域活動は「担い手不足」と
言われますが、若い世代が皆、無
関心なわけではなく、「ちょっと
関心がある」という人は結構いる
でしょうね。

水 まちづくりの「とらいつた」とい
うのも「町内」「校区」単位で考え
がちですが、例えば地域をまたい
で、「子育て」などのテーマでつな
がるサークル活動的なことも、「一
つのまちづくりだ」と思います。
これだけSNSが普及している

時代ですから、そういう形もあっ
ていいのでは。そこでの経験や知
識を、自分の住む地域の「まちづ
くり」に興味を持った時に生かす
という落とし込み方があっていい
ですよね。

舞 まずは地域に縛られずに自
分の興味のあるテーマや分野の
活動から入って、そこから地域と
の関わりやつながりを少しずつ
増やしていく。それだと、長続き
もするし、楽しむこともできそ
うですね。ところで、探検隊の皆さ
んは活動に参加（紙面に登場）し
たことで、周囲から反響はありま

す。行政の進めることや、それに
参加することに抵抗のある人も
いますが、私が率先して参加する
ことで「そしてもないよ」と伝え
られれば、それで少しでも「まち
づくり」に興味・関心を持って、関
わる人が増えれば、熊本全体が盛
り上がると思います。

高 私の周りにも元氣なシニア
世代が多く、それぞれ得意分野
や趣味をお持ちです。そうした
方々と地域の子どもたちをマッ
チングさせれば、世代間交流が生
まれ、すてきなまちになるのでは
ないかと思えます。

水 「まちづくり探検隊」の活動
を通して、「自分も何かやってみ
たい」という気持ちが育っている
のが素晴らしいと思います。実
は私も今年から子どもが通って

いる小学校の「おやじの会」に参
加することになりました。もちろ
ん、子どものためでもありますが
、地域の中でこれからも長く暮
らしていくための自分自身の土
壌づくりだと感じています。

舞 私自身も取材や紙面づく
りを通じて、「まちづくり」について
知らなかったことをたくさん知
ることができました。何かをき
かけに知っていくと、気持ちも広
がるし、「何かやってみよう」とい
うところにつながっていくんだ
なと感じました。今日は皆さん
お忙しいところ本当にありがた
うございました。

高 以前から熊本駅から桜町ま
での市電沿いの道を明るくする
活動に取り組みたいと思ってい
ます。駅から市街地へ向かう道な
のに、夜はとても暗いので、ほん
の一角だけでも明るくすればと
思い、実際に活動を始めました。

石 私は、住んでいる西区で開催
される「西区フェスタ」の実行委
員をやることになりました。最初
は、「私が参加して何の役に立つ
の？」とも思いましたが、西区を
盛り上げたいという気持ちで参
加しました。

水 実際に実行委員会に参加し
てみてどうでしたか？

石 行政の方々の会議で、「堅
い」というイメージでしたが、私

たちが「まちづくり」の素
人の意見も真摯（しんしん）に受け
止めていただいて、参加して良
かったと思えました。

舞 「まちづくり探検隊」での活
動が、実際の皆さんの「行動」につ
ながったというのはうれしいで
すね。今後関わってみたい地域活
動などはありますか？

末 子どもが好きなので、子ども
を対象にした地域活動に参加し
てみたいですね。地域の将来を考
えたときに、子どもたちに「何を
伝えるか」はとても大事。そうい
うイベントを、ぜひ地域で企画し
てみたいです。

石 まずは、今住んでいる地域で
地道な活動を続け、ゆくゆくは市
や県などの広域の「まちづくり」
にも関わってほしいらと思いま

「まちづくり」に関心がある若い世代が 一歩踏み出せるきっかけが必要



市民目線の「探検隊」の存在が
まちづくりを、より身近に感じさせてくれた



「と伝えるのにも、紙面が役立
ちました。」

高 知人の女性からは、「今週も
高見さんが載っているんじゃない
かと思って、（すばいすを）隅か
ら隅まで読んでいます」と言われ
てうれしかったです。また、「地域
活動に関心が高い」ということを
知ってもらえたので、私自身のイ
メージアップにもつながったみ
たいです（笑）。

取材参加をきっかけに 自分の専らす地域に関心

舞 皆さんが「まちづくり探検
隊」として紙面に登場してくだ
さったことで、読者（市民）にも
「まちづくり」を、より身近に感
じてもらえたと思います。皆さ
ん自身は、取材をきっかけに、新

私が参加することで地域活動やまちづくりに 参加する「気持ちのハードル」を下げたい



たな地域活動に参加したりしま
したか？

高 以前から熊本駅から桜町ま
での市電沿いの道を明るくする
活動に取り組みたいと思ってい
ます。駅から市街地へ向かう道な
のに、夜はとても暗いので、ほん
の一角だけでも明るくすればと
思い、実際に活動を始めました。

石 私は、住んでいる西区で開催
される「西区フェスタ」の実行委
員をやることになりました。最初
は、「私が参加して何の役に立つ
の？」とも思いましたが、西区を
盛り上げたいという気持ちで参
加しました。

水 実際に実行委員会に参加し
てみてどうでしたか？

石 行政の方々の会議で、「堅
い」というイメージでしたが、私